

令和4年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(国語) 科目：(現代文B) 対象：(第3学年 A組～F組)

教科担当者：

教科・科目の指導目標	社会人として困らない、基礎、基本的な国語力を身に付ける。また、3年間を通して漢字を適切に読み書きする力を養う。
------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1 国語知識 例年通りであるが、基本的な知識が不足している。一般常識的な漢字の読み書きについても不十分で、語彙力も十分とは言えない。また、文学史的事項についても理解が不十分である。</p> <p>2 文章読解 現代文(評論):比較的苦手としている生徒がみられる。 現代文(小説):比較的意欲的な生徒が多い。知識を活用して自分の力で文章を読み解く力が欠けている。 文学史や古文・漢文などを理解する力、基本的な知識が不足している。</p>	<p>教科会にて、下記の指導方針を確認</p> <p>1 便覧の活用や文学史的事項への親しみを持たせる時間を取ること。 2 評論文や小説については、短時間で集中して問題に取り組む姿勢を身につけていく。 3 難しい語句の意味を考える方法を身につける。語彙を増やしていく。 4 自分の考えをわかりやすく的確に伝える練習をする。 5 ICT機器を活用する。</p>	<p>1 国語常識テストの週2回の時間の確保と長期休業明けのテストの実施 2 難しい語句の意味を確認しながら文章読解をすすめていく 3 ICT機器や、便覧を用いて、扱う内容に関連する文学史事項は折に触れ授業で扱う。 4 長い文章の要点をまとめる機会を取り入れる。 5 年4回、400字程度の作文、小論文をかかせる機会を設ける。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			